



平成28年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年4月25日

上場取引所 東

上場会社名 KIホールディングス株式会社
コード番号 6747 URL <http://www.koito-ind.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 掛川 隆

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 田地川 章

TEL 045-822-7101

四半期報告書提出予定日 平成28年5月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年9月期第2四半期の連結業績(平成27年10月1日～平成28年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第2四半期	30,937	1.2	3,963	△11.7	3,958	△10.6	3,470	—
27年9月期第2四半期	30,578	△5.4	4,489	△7.4	4,429	△5.2	△1,093	—

(注) 包括利益 28年9月期第2四半期 3,809百万円 (241.0%) 27年9月期第2四半期 1,117百万円 (△73.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第2四半期	83.75	—
27年9月期第2四半期	△26.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年9月期第2四半期	51,179	12,087	16.3	200.73
27年9月期	49,943	8,279	10.4	125.74

(参考) 自己資本 28年9月期第2四半期 8,318百万円 27年9月期 5,211百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年9月期	—	0.00	—	—	—
28年9月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注2) 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末日における配当予想額は未定であります。

3. 平成28年9月期の連結業績予想(平成27年10月1日～平成28年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	54,700	3.8	5,900	8.6	5,700	16.3	4,100	—	98.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年9月期2Q	41,587,061 株	27年9月期	41,587,061 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年9月期2Q	146,527 株	27年9月期	142,597 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年9月期2Q	41,441,801 株	27年9月期2Q	41,450,586 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(参考)

平成28年9月期の個別業績予想（平成27年10月1日～平成28年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	300	△ 38.6	△ 900	—	1,600	△ 35.8	3,200	—	77.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、年明け以降の金融市場の混乱による内外需の大幅な悪化で先行き不透明感が拡大し、企業の景況感や消費者マインドの下振れ、生産抑制などにより、足踏み状態が長期化する状況で推移いたしました。

このような経済環境のもとで、当社グループのセグメント別売上高は以下の状況となりました。

輸送機器関連事業につきましては、鉄道車両機器部門及び中国子会社が売上増となったことにより、前年同期比11.3%増の14,507百万円となりました。

電気機器関連事業につきましては、照明、情報システム、交通システム各部門が売上減となったことにより、前年同期比6.1%減の15,467百万円となりました。

住設環境関連事業につきましては、住設機器、環境システム両部門ともに売上減となったことにより、前年同期比11.0%減の962百万円となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループ全体の売上高は、前年同期比1.2%増の30,937百万円となりました。

損益につきましては、原価低減及び経費削減を徹底したものの営業利益は前年同期比11.7%減の3,963百万円と前年同期に比べ減少し、経常利益も前年同期比10.6%減の3,958百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、航空機シート事業の損害賠償引当金戻入額を特別利益に計上したこと等により3,470百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、流動資産は受取手形及び売掛金の増加3,969百万円、有価証券の減少819百万円、仕掛品の減少540百万円などにより、前連結会計年度末に比べ1,588百万円増加し、38,295百万円となりました。また、固定資産は投資有価証券の減少195百万円、建物及び構築物の減少99百万円などにより、前連結会計年度末に比べ351百万円減少し、12,884百万円となりました。これらの結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ1,236百万円増加し、51,179百万円となりました。

負債につきましては、長期借入金の増加8,969百万円、損害賠償引当金の減少7,552百万円、短期借入金の減少5,227百万円などにより、前連結会計年度末に比べ2,571百万円減少し、39,092百万円となりました。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益3,470百万円、非支配株主持分の増加700百万円などにより、前連結会計年度末に比べ3,807百万円増加し、12,087百万円となりました。

また、当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは税金等調整前四半期純利益5,035百万円、仕入債務の増加2,077百万円などの増加に対し、損害賠償金の支払額6,468百万円、売上債権の増加4,503百万円などの減少により、4,199万円の使用となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは投資有価証券の償還による収入105百万円などにより、68百万円の増加となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは長期借れによる収入10,000百万円、短期借入金の純減額5,215百万円、非支配株主への配当金の支払額1,165百万円などにより、3,579百万円の増加となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は5,612百万円となり、前連結会計年度末に比べ728百万円の減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年1月27日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、
支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、
取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益への影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,420	5,511
受取手形及び売掛金	18,893	22,863
有価証券	921	101
製品	3,417	3,244
仕掛品	2,734	2,194
原材料及び貯蔵品	4,806	4,272
繰延税金資産	113	126
その他	845	327
貸倒引当金	△444	△345
流動資産合計	36,707	38,295
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,753	2,654
機械装置及び運搬具（純額）	174	142
工具、器具及び備品（純額）	174	151
土地	2,971	2,971
有形固定資産合計	6,074	5,919
無形固定資産	230	209
投資その他の資産		
投資有価証券	6,540	6,345
繰延税金資産	100	99
その他	299	320
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	6,931	6,755
固定資産合計	13,236	12,884
資産合計	49,943	51,179

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,930	11,771
短期借入金	12,224	6,997
1年内返済予定の長期借入金	70	1,063
未払法人税等	234	403
賞与引当金	465	461
その他	3,950	2,359
流動負債合計	26,875	23,057
固定負債		
長期借入金	1,057	10,027
繰延税金負債	937	868
役員退職慰労引当金	306	309
環境対策引当金	191	191
損害賠償引当金	7,552	—
退職給付に係る負債	4,671	4,563
その他	71	74
固定負債合計	14,788	16,034
負債合計	41,663	39,092
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,214	9,214
資本剰余金	8,211	8,211
利益剰余金	△14,646	△11,175
自己株式	△52	△54
株主資本合計	2,726	6,195
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,968	1,935
為替換算調整勘定	674	354
退職給付に係る調整累計額	△159	△167
その他の包括利益累計額合計	2,484	2,122
非支配株主持分	3,068	3,769
純資産合計	8,279	12,087
負債純資産合計	49,943	51,179

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
売上高	30,578	30,937
売上原価	23,056	24,288
売上総利益	7,521	6,648
販売費及び一般管理費	3,032	2,685
営業利益	4,489	3,963
営業外収益		
受取利息	83	34
受取配当金	22	23
為替差益	162	—
貸倒引当金戻入額	78	73
その他	44	100
営業外収益合計	391	232
営業外費用		
支払利息	38	86
航空事業安全対策費	357	34
その他	55	116
営業外費用合計	451	237
経常利益	4,429	3,958
特別利益		
固定資産売却益	—	2
投資有価証券償還益	—	6
損害賠償引当金戻入額	—	1,068
特別利益合計	—	1,078
特別損失		
固定資産除売却損	0	1
損害賠償引当金繰入額	4,123	—
特別損失合計	4,123	1
税金等調整前四半期純利益	306	5,035
法人税等	646	580
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△340	4,454
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,093	3,470
非支配株主に帰属する四半期純利益	752	984
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	869	△32
為替換算調整勘定	603	△603
退職給付に係る調整額	△15	△8
その他の包括利益合計	1,457	△644
四半期包括利益	1,117	3,809
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	86	3,108
非支配株主に係る四半期包括利益	1,030	700

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	306	5,035
減価償却費	188	190
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4	△77
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△165	△117
賞与引当金の増減額(△は減少)	△15	△4
損害賠償引当金繰入額	4,123	—
損害賠償引当金戻入額	—	△1,068
受取利息及び受取配当金	△106	△58
支払利息	38	86
投資有価証券償還損益	—	△6
固定資産除売却損益(△は益)	0	△1
売上債権の増減額(△は増加)	△6,000	△4,503
たな卸資産の増減額(△は増加)	△694	961
仕入債務の増減額(△は減少)	2,064	2,077
その他	△519	△111
小計	△775	2,401
利息及び配当金の受取額	99	55
利息の支払額	△38	△77
損害賠償金の支払額	△63	△6,468
法人税等の支払額	△395	△111
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,173	△4,199
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	500	—
有形固定資産の取得による支出	△21	△27
無形固定資産の取得による支出	△2	△9
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
投資有価証券の償還による収入	700	105
その他	—	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,173	68
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減(△は減少)	△600	△5,215
長期借入れによる収入	—	10,000
長期借入金の返済による支出	△37	△37
非支配株主への配当金の支払額	△746	△1,165
その他	△2	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,386	3,579
現金及び現金同等物に係る換算差額	172	△176
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,213	△728
現金及び現金同等物の期首残高	6,679	6,341
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,466	5,612

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年10月1日 至 平成27年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額 (注) 2
	輸送機器 関連事業	電気機器 関連事業	住設環境 関連事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,029	16,466	1,081	30,578	—	30,578
セグメント間の内部売上高 又は振替高	953	971	—	1,924	△1,924	—
計	13,982	17,437	1,081	32,502	△1,924	30,578
セグメント利益	2,603	2,234	29	4,867	△377	4,489

(注) 1. セグメント利益の調整額△377百万円は、各報告セグメントに配分していない提出会社の管理部門等に係る費用です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額 (注) 2
	輸送機器 関連事業	電気機器 関連事業	住設環境 関連事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,507	15,467	962	30,937	—	30,937
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,259	907	—	2,167	△2,167	—
計	15,767	16,374	962	33,104	△2,167	30,937
セグメント利益	3,245	1,090	26	4,363	△399	3,963

(注) 1. セグメント利益の調整額△399百万円は、各報告セグメントに配分していない提出会社の管理部門等に係る費用です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。